

賑わう広野駅

～地域から愛される交流の場へ～

デスティネーションキャンペーン
ふくしまDC特別企画
『ふくしま まんぷくトレイン』運行

6月6日（土）、福島県の大規模観光企画“ふくしまDC”の特別企画で、県内の名産品を味わえる団体臨時列車『ふくしままんぷくトレイン』が広野駅から出発しました。当日は“まちなかマルシェ in 広野駅交流施設”が同時開催され、駅前広場は多くの人で賑わいました。



広野駅を出発した特別列車

Yummy!

“まちなかマルシェ”
同時開催



多くの人で賑わうマルシェ



ゆるキャラたちも大集合

広野駅環境美化活動

6月13日（土）、広野駅環境美化活動が行われました。この活動は鉄道職員OBや広野町女性会などでつくる「広野駅環境美化推進協議会」が主体となって毎年6月と9月に実施しています。当日は約80名の参加者が集まって作業に汗を流しました。



参加者全員で記念撮影



Hirono Mikan Story

広野みかんの取り組み

広野町みかん振興特産品開発支援補助金のご案内

広野町産のみかんを活用した新しい特産品づくりや、研究、販路拡大に取り組む皆さまを支援するため、新しい補助金制度をスタートしました。

対象となる方	町内で、販売を目的としてみかんの加工品を製造・販売する「農業者」や「団体等」
補助金額	上限 300,000円（1つの加工品で1回限り）
対象となる経費	・商品開発：試作品づくり、パッケージデザインの作成など ・研究：特産品の研究に要する経費など ・販路拡大：PR活動、販売促進グッズの作成など △本補助金は、開発した加工品を実際に「販売」まで行うことで事業完了となります。※人件費は除きます。
対象期間	令和9年3月31日まで（当年度内）
申請の手続き	所定の「交付申請書（様式第1号）」に必要事項を記入のうえ、農業振興課窓口へご提出ください。 ※申請書は町ウェブサイトからダウンロードするか、窓口でお受け取りください。審査のうえ、交付の可否を通知します。

【ご注意ください】

- ・事業終了後には「実績報告書」の提出が必要です。内容確認後に補助金が確定し、請求に基づいてお支払いします。
- ・不正な申請や目的外の利用があった場合は、交付決定を取り消し、返還を求めることがあります。
- ・補助金に関する帳簿や領収書などの書類は、事業終了後5年間の保存義務があります。

町内の「庭先みかん」を調査します

町内には、各家庭の庭先で大切に育てられてきたみかんの木が数多く存在します。地域の気候に根付き、長年実りをもたらしてきたみかんの木々は、広野町の貴重な財産です。

町ではこれらのみかんが町内にどれくらいあるのか、樹齢や生育状況を把握するための実態調査を進めています。7月より町内においてお話を伺うなど、調査へのご協力をお願いする場合がございますので、その際はご理解とご協力をお願いいたします。また、皆さまのお宅のみかんの木にまつわるエピソードなども、ぜひお聞かせください。

白い花から、青い実へ



白い花が終わり、小さくて青い「実の赤ちゃん」がぷっくりと顔をのぞかせています。

初夏の強い光を浴びて、一生懸命に育とうとしているこの緑のちいさな実たちが、秋には鮮やかなオレンジ色へと色づいていきます。町民の皆さまも、散歩の途中や庭先で、ぜひみかんの木の生命力あふれる姿を覗いてみてください。



NEW
Challenge!

地域おこし協力隊に着任!



ふじかわ たかはる
藤川 隆春
(熊本県宇城市出身)



このたび、広野町のみかん事業を盛り上げるため、新たな地域おこし協力隊員として藤川 隆春（ふじかわ たかはる）さんが着任しました。

藤川さんは今後、町の大切な財産であるみかんの育成サポートをはじめ、加工品の販路拡大や流通支援、さらにはこれまでにない新しい活用アイデアの提案など、多方面から広野のみかんを元気にする活動に取り組みます。

藤川さんコメント

みかんの基本的な育て方をわかりやすくお伝えし、皆さまの「みかんづくり」を全力でお手伝いします。